

「ぼ～れば～れ」通巻 423 号所載

支え合うことが大切

三郷の小さなつどい 2015 年 8 月 22 日（土）13：30～

岩野木集会場 参加者 17 名

クリニックふれあい早稲田の大場先生と、みさと健和団地診療所の宮本先生、みさと協立病院の矢花先生が参加されました。はじめに大場先生から、「介護保険情報」8月号にアカシア会の活動が紹介されたこと、「介護施設は地域に支えられることで、よりよい活動ができる」と話されました。

Aさんから母の状態が進んできて、ショートステイを利用したいが、反対する家族もいて、使えないという話がありました。

Bさんからデイに慣れていてもショートステイの場所が違くと、本人はとまどってしまう。複合型のような同じ施設で利用できるところがよいのではと、アドバイスがありました。また、お風呂に入りたがらないことについては、デイサービスのスタッフのCさんから、「いつも5人ぐらいの方を入れていますが、入りたくない人もいます。好きな花の鉢を傍においたり、健康診断だからと話したりします。家族が“臭うから入って”などと言うのは、逆効果になります」と話され、なるほどと思いました。

Dさんは、父は農家だったので、朝早くから働いていて、木の枝をどんどん切っては溜まると燃やすので、心配ということでした。Aさんからは、木の枝で何かを作る、デイサービスなどでボランティアで手伝うのはどうでしょうという提案があって、それが実現したらいいなと思いました。